

令和4年度 第3回喜多方市立第二小学校 学校運営協議会要項

日 時：令和5年 3月9日（金）16:00～16:45
場 所：喜多方市立第二小学校 会議室

全体進行（事務局）

- 1 開会の言葉
- 2 会長あいさつ
- 3 校長あいさつ
- 4 協議（座長：会長）
 - （1）令和4年度 学校経営の反省【資料1】
 - （2）令和4年度 学校評価（第2回）について【資料2】
 - （3）令和5年度 学校経営について【資料3】
- 5 その他
- 6 開会の言葉



令和4年度 学校運営協議会委員名簿(喜多方市立第二小学校)

| No. | 所属機関・役職等 | 氏 名 | 備 考 |
|-----|-----------------|----------|-----|
| 1 | 第二小学校PTA会長 | 佐藤 周一郎 様 | |
| 2 | 第二小学校元PTA副会長 | 北見 真貴 様 | |
| 3 | 前学校歯科医 | 志田 公司 様 | |
| 4 | 住職 第二区民生児童委員会会長 | 塚原 正道 様 | |
| 5 | 青少年育成第一地区会会長 | 女池 義昭 様 | |
| 6 | 塗物町祭りばやし保存会代表 | 五十嵐 文恵 様 | |
| 7 | 第二小学校元PTA会長 | 齋藤 勝博 様 | |
| 8 | 第二小学校前PTA会長 | 渡邊 和美 様 | |
| 9 | 元小学校長 | 齋藤 文泰 様 | |
| 10 | SSW | 遠藤 さゆり 様 | |
| 11 | 第二こども園長 | 高橋 さつき 様 | |
| | | | |
| 12 | 校 長 | 田 中 純 | |
| 13 | 教 頭 | 目 黒 洋 光 | |
| 14 | 教 務 主 任 | 鈴 木 国 浩 | |
| 15 | 生徒指導主事 | 遠 藤 和 也 | |
| 16 | 養 護 教 諭 | 山ノ内 道代 | |
| 17 | 主 査 | 穴 澤 美 穂 | |

令和4年度 第2回 学校評価 (教職員・保護者・児童)

資料2

～教育目標具現化構想～ 評価項目

| | | | | 評価平均 | | 比較増減 | | | |
|-----------------|-----------------------------|---------------------------|--------------------------------|---|-----|------|-------|-------|-------|
| | | | | 1学期 | 2学期 | | | | |
| すすんで学習する子ども | ●知識・技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成 | 教職員 | 1 | 現職教育の確実な実践に努め、思考力・判断力・表現力等を育成 | 2.8 | ● | 3.0 | | +0.19 |
| | | 保護者 | 6 | 学校は、授業を大切にし、子どもがわかる・できる授業づくりをしている。 | 3.2 | | 3.2 | | +0.02 |
| | | | 16 | お子さんは、正しい姿勢で教師や友達の話の聞くことができる。 | 3.0 | | 3.0 | | +0.01 |
| | | 児童 | 2 | 自分のめあてを持ち、めあてに向かって努力している。 | 3.3 | ○ | 3.4 | ○ | +0.07 |
| | | | 3 | 学校の勉強は、分かりやすく楽しい。(※) | 3.3 | ○ | 3.3 | ○ | +0.01 |
| | | | 4 | 自分の考えを分かりやすくノートに書いたり、発表したりしている。 | 2.9 | | 3.0 | | +0.08 |
| | | | 5 | きちんと先生や友だちの話の聞いている。(※) | 3.7 | ○ | 3.7 | ○ | +0.01 |
| | 10 | 先生は、分かりやすく、工夫して勉強を教えてくれる。 | 3.6 | ○ | 3.6 | ○ | +0.00 | | |
| | 11 | 先生は、自分が勉強でがんばったことをほめてくれる。 | 3.4 | ○ | 3.5 | ○ | +0.09 | | |
| | 教職員 | 2 | 自学・自習力を育成する家庭学習の充実 | 2.8 | ● | 3.2 | | +0.36 | |
| | 保護者 | 10 | お子さんは、毎日、家庭学習を頑張っている。 | 3.2 | | 3.2 | | -0.00 | |
| | 児童 | 7 | 家庭では、時間を決め、進んで家庭学習に取り組んでいる。(※) | 3.3 | ○ | 3.3 | ○ | -0.05 | |
| | 教職員 | 3 | 読書活動の充実 | 3.1 | | 2.9 | | -0.21 | |
| | 保護者 | 9 | お子さんは、家庭でよく読書をしている。 | 2.5 | ● | 3.2 | | +0.70 | |
| 児童 | 6 | 読書に進んで取り組み、読む本が増えた。 | 3.2 | | 3.2 | | -0.01 | | |
| 教職員 | 4 | 知識・技能の確実な習得・定着 | 2.9 | | 3.1 | | +0.15 | | |
| 心やさしく思いやりのある子ども | ●他の尊重と自己効力感の育成 | 教職員 | 5 | 学級力の向上 | 3.1 | | 3.2 | | +0.04 |
| | | 児童 | 9 | 学級活動や児童会活動では、みんなのために工夫して取り組んでいる。 | 3.3 | ○ | 3.4 | ○ | +0.05 |
| | | 教職員 | 6 | 考え、議論し自己の生き方についての考えを深める道徳授業の実施 | 2.7 | ● | 3.0 | | +0.27 |
| | | 保護者 | 11 | お子さんは、将来の夢や目標について話すことがある。 | 3.0 | | 3.5 | ○ | +0.54 |
| | | 児童 | 8 | 家庭で、将来の夢や目標について話をする。(※) | 3.1 | | 2.9 | | -0.18 |
| | | 教職員 | 7 | やさしく思いやりのある人間関係の醸成 | 3.1 | | 3.1 | | +0.02 |
| | | 保護者 | 8 | 学校は、子どもたちのやさしく思いやりのある人間関係づくりに努めている。 | 3.2 | | 3.2 | | +0.02 |
| | | 児童 | 15 | 友達の気持ちを考え、仲良く生活している。 | 3.5 | ○ | 3.6 | ○ | +0.10 |
| きまりを守り責任を果たす子ども | ●基本的生活習慣と社会性の育成 | 教職員 | 8 | 体験活動・交流活動の充実 | 2.7 | | 2.8 | ● | +0.14 |
| | | 教職員 | 9 | 対人関係スキルの向上 | 2.4 | ● | 2.9 | | +0.48 |
| | | 保護者 | 13 | お子さんは、学校や学級でよい友達関係をつくっている。 | 3.3 | ○ | 3.3 | ○ | -0.00 |
| | | 教職員 | 10 | いじめ・不登校の早期発見・即時対応、継続的な見守り | 3.0 | | 3.3 | ○ | +0.25 |
| | | 保護者 | 3 | 学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。 | 3.2 | | 3.2 | | +0.03 |
| | | | 4 | 学校は、お子さんのことについて、適切に相談に応じている。 | 3.3 | ○ | 3.3 | ○ | +0.04 |
| | | 児童 | 20 | 先生は、相談すると話をよく聞いてくれる。 | 3.7 | ○ | 3.7 | ○ | +0.03 |
| | | 教職員 | 11 | きまりの意義理解した自律的態度の育成 | 2.8 | ● | 2.8 | ● | +0.01 |
| | | 保護者 | 14 | お子さんは、時と場に応じて、自分からあいさつすることができる。 | 3.1 | | 3.1 | | -0.01 |
| | | 児童 | 12 | 友達や地域の方に進んであいさつをしている。(※) | 3.4 | ○ | 3.4 | ○ | +0.04 |
| 元気に運動する子ども | ●体力・健康増進と安全の徹底 | 教職員 | 12 | 自律的生活習慣の育成 | 2.8 | ● | 2.8 | ● | +0.01 |
| | | 保護者 | 15 | お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的な生活習慣が身に付いている。 | 3.1 | | 3.1 | | -0.04 |
| | | | 17 | お子さんは、「オフスクリーン運動」を意識した家庭での行動が見られる。 | 2.7 | ● | 3.0 | | +0.29 |
| | | 児童 | 13 | テレビやゲームの時間を少なくするように心がけている。 | 3.0 | | 2.9 | | -0.14 |
| | | | 16 | 毎日寝る時間や起きる時間を決め、規則正しい生活をしている。(※) | 3.3 | ○ | 3.2 | | -0.10 |
| | | 17 | 好き嫌いをせず、栄養を考えながら食べている。 | 3.2 | | 3.1 | | -0.06 | |
| | | 教職員 | 13 | 日常的な体力づくりの推進 | 2.8 | ● | 3.2 | | +0.41 |
| | | 保護者 | 18 | お子さんは、運動に親しみ、体力の向上に取り組んでいる。 | 3.3 | ○ | 3.2 | | -0.07 |
| | | 児童 | 19 | 進んで運動に取り組み、体力をつけようとしている。 | 3.5 | ○ | 3.5 | ○ | +0.01 |
| | | 教職員 | 14 | 「自分手帳」の積極的活用 | 2.6 | ● | 2.7 | ● | +0.04 |
| | | 教職員 | 15 | 安全に行動できる力の育成 | 2.9 | | 3.0 | | +0.12 |
| | | 保護者 | 7 | 学校は、お子さんに命の大切さや社会のルールを守るように指導している。 | 3.3 | ○ | 3.3 | ○ | +0.01 |
| | | | 19 | お子さんは、交通ルールを守り、安全に登下校したり、地域で安全に気をつけて生活している。 | 3.4 | ○ | 3.5 | ○ | +0.06 |
| | | 児童 | 18 | けがや交通事故にあわないように、気をつけて生活している。 | 3.7 | ○ | 3.8 | ○ | +0.09 |
| その他 | 開かれた学校づくり | 保護者 | 1 | 学校は、教育目標や方針など教育活動について分かりやすく伝えている。 | 3.3 | ○ | 3.3 | ○ | -0.01 |
| | | | 2 | 学校は、ホームページや学校・学年便りなどで学校の様子をよく伝えている。 | 3.6 | ○ | 3.5 | ○ | -0.08 |
| | | | 20 | 授業参観・保護者会(懇談会)やPTA活動に積極的に参加している。 | 3.3 | ○ | 3.4 | ○ | +0.11 |
| | 学校が楽しい | 保護者 | 12 | お子さんは、楽しく学校に通っている。(学校が好きだ) | 3.4 | ○ | 3.4 | ○ | +0.00 |
| | | 児童 | 1 | 学校の生活は楽しい。 | 3.6 | ○ | 3.7 | ○ | +0.07 |
| | 環境整備 | 保護者 | 5 | 学校は、整理整頓され、美しい環境づくりに努めている。 | 3.2 | | 3.1 | | -0.09 |
| 児童 | | 14 | トイレのスリッパをそろえるなど、整理整頓に努めている。 | 3.4 | ○ | 3.4 | ○ | -0.03 | |

令和5年1月11日

保護者 様

喜多方市立第二小学校長 田中 純

令和4年度 「第2回学校教育に関するアンケート」の結果について

2学期末に実施しました「学校教育に関するアンケート」へのご協力ありがとうございました。アンケートの結果をもとに、今後の学校教育の更なる充実に向けて取り組んで参ります。なお、アンケート結果につきましては、本校のポータルサイトに掲載いたしましたので、ご覧ください。

1 成果と課題

4：そう思う 3：ややそう思う 2：あまり思わない 1：思わない

(1) 成果（A・B評価の割合が高かった内容） ※1回目との比較

- 教育目標や方針など教育活動について分かりやすく伝えている。(90%) ※+1
 - ホームページや学校・学年だよりなどで学校の様子をよく伝えている。(94%)
 - お子さんのことについて適切に相談に応じている。(89%) ※+3
 - 整理整頓され、美しい環境づくりに努めている。(91%) ※+3
 - 授業を大切にし、子どもが「わかる・できる」授業づくりをしている。(87%) ※+1
 - お子さんに命の大切さや社会のルールを守るように指導している。(91%) ※+3
 - 子どもたちのやさしく思いやりのある人間関係づくりに努めている。(88%) ※+3
 - お子さんは楽しく学校に通っている。(学校が好きだ) (87%)
 - お子さんは学校や学級でよい友達関係をつくっている。(90%) ※+2
 - 交通ルールを守り、安全に登校し、地域で安全に気をつけて生活している。(95%) ※+2
 - 授業参観・保護者会やPTA活動に積極的に参加している。(90%) ※+1
- ◎ 保護者アンケート21項目のうち、11項目で85%以上の評価となりました。
上記の項目以外で、3項目で80%以上の高評価をいただきました。

(2) 課題（C・D評価の割合が高かった内容）

- ◎ 保護者アンケート21項目のうち、C・D評価が40%以上となった項目は以下の2項目となりました。
- ◆家庭での読書(52%)
 - ◆オフスクリーンを意識した家庭での行動(46%)

2 考察

開かれた学校、授業・学習環境づくり、楽しい学校づくり、児童の人間関係づくり、安全指導などに高い評価をいただきました。定期的な学校だよりや学年だよりの発行、日々のポータルサイト記事掲載、メール配信による情報提供などにより、コロナ禍での教育活動の状況について、保護者の方々に理解を得て進めることができていることがうかがえます。また、学校全体で取り組んでいる学級力向上のための話し合い活動やほめ言葉のシャワーの継続により、担任と児童がともによりよい学級づくりに取り組んできた成果が見

られております。

昨年度より導入された、一人一台のタブレットを活用しながらの新たな授業づくり、個別指導の充実を図り、より一層学力の定着に向けての取り組みを進めてまいります。課題としてあげられたものについては、1学期同様の項目が挙げられております。家庭での読書活動の向上のために、学校では朝の読書の時間の確保や学校図書館の環境整備（司書教諭の配置）、読み聞かせ、読書週間など、様々な取り組みを通して、児童の読書習慣の定着を図っております。また、オフスクリーン週間を設け、一中学区の学力向上担当者や養護教諭が連携し、地域全体での取り組みを進めているところですが、各家庭でより一層ゲーム、インターネット、SNS とのつき合い方を意識し、相互に連携を深めていく必要があります。

3 保護者の方からのご意見と回答

【先生方の対応】

- 校長先生が毎日、横断歩道で頭をさげ挨拶しているところを見ると、周りからも信頼される小学校になるのではないかと思います。
- 校長先生が率先して朝の交通安全に取り組んでいるところ。
- 登下校時の安全を見守っていただきありがとうございます。安心して子供を学校に見送れます。
- 登下校時の校長先生、地域の見守ってくれている方々に感謝です。安心して子供を見送れます。ありがとうございます。
- 朝の登校の際に先生方が歩道に立ってくださっていると、集団登校がなく心配していますが、少し安心します。
- 児童に親身になって寄り添い、適切な対応をして下さるので、いつもありがたく思っております。
- 先生方もお忙しい中、子どもたちと真摯に向き合っていただいていると思います。
- 子供達のために、いろいろとやっていると感じます。
- 先生方がいつも笑顔で対応してくださるのが印象的です。
- 先生方みなさんととても話しやすく、担任も何かある度に親身になってアドバイス、相談をしてくれているので、子供だけでなく、保護者も安心して通学させています。
- いつも、ありがとうございます。児童に寄り添った学習をされていて嬉しく思います。
- 学年、担任に関係なく先生方の児童や保護者への声掛け・気遣いが凄いといつも思います。とてもありがたいですし、感謝しています。この大変なご時世のなか、ご指導をありがとうございます。”
- 先生方がいつも元気に子どもたちに声をかけて下さり、朝のマラソンや、休み時間も、子どもたちと一緒に活動して下さる姿に、頭が下がる思いです。子どもたちの心の支えであり、良きお手本として、一生記憶に残るものなので、二小で過ごす毎日が子どもたちにとって宝物だと感謝しております。
- 子どもが学習面も含めて「学校楽しい！」とよく言葉にします。生き物を飼育したり、友だちや自分を取り巻く人々を思いやる気持ちが育まれたり、その中で己が発揮できる環境があること…そこに我が子がいることに幸せを感じています。人を思いやることで、誰かに想われるということを経験して学んでいるように思います。今の我が子はとても良い顔をしています。生きる楽しさを知っている顔をしています。感謝の一言に尽きます。
- 校長先生や教頭先生が直接指導してくださる授業があったり、ほおの木発表会と一緒に出席下さったりと、上の先生方も子ども達とより近いところで関わっていただいているのが素晴らしいと思いました。
- お忙しい中、毎日欠かさず、学習カードへコメントを書いて下さり、本人も励みになっているようです。
- 見守っていてくださっている事が分かり、とても心強いです。
- 先生が、ちょっとした事でも、とても丁寧に対応してくれている。
- 先生が子供たちの喜ぶことを色々考えて下さって子供が嬉しそうには話してくれました。
- スポーツにも勉学にもしっかりと取り組む指導がされていて素晴らしいと思います。
- 朝のマラソンも体力作りにととてもよいと思います。
- 授業参観など、授業を持ってない先生がいろんな教室を見て回っているのは素晴らしい。保護者からみても生徒を見てもらっているし、保護者への挨拶など顔をみて行っており良いと思います。

- 教頭先生の電話対応が素晴らしいです。労りの気持ちを込めながら、このコロナ禍での学校対応についてなどを丁寧に説明して下さい、分かりやすかったです。
- 本人または家族が体調不良の際、お電話にて教頭先生に、大変丁寧に説明頂きました。ありがとうございました。

【学校,子供たちのよさ】

- 子供たちも家の前を通ると挨拶をしてくれる子もいて気持ちが良いです。
- 挨拶が元気よくできて素晴らしいです。何事も懸命に取り組む姿も素晴らしいです。
- 読書週間に関わらず、クラスの中でよく読書に取り組む友達が多いようで、いい影響を受けて、読書量が増えたと思います。
- 色々な体験,経験が出来ていいと思います。
- 何事も懸命に取り組む姿勢が素晴らしいです。
- 「花でもてなす喜多方」花いっぱいコンクールでの最優秀賞受賞,おめでとうございます。「すき」に「て」を加えて素敵な学校にする努力が実を結んでいるのだなあと感じております。
- ほおの木発表会では子供たちの頑張っている姿に感動しました。
- 4年生のほおの木発表会の扇子の演舞にただただ鳥肌が止まりませんでした。子どもたちのために熱心にご指導下さる先生が減っていかないことを願っています。
- 教室で生き物を飼育しているようで,実物を観察できるところがよいと思います。

【教育課程のよさ】

- いもスイーツ作りやザリガニ釣り,町探検など,実習や校外学習に力を入れており,子ども達が楽しく学べる工夫をされていると感じます。

【ホームページのよさ】

- 毎日,小学校での情報がのっており,本当にありがとうございます。
- お忙しい中,ポータルサイトの更新ありがとうございます。子供も自分が写っていると,その時の事を,とても楽しげに教えてくれます。そこから話が広がり,色々な事を話してくれるきっかけになる事が多いです。
- ポータルサイトもよく更新されて,子ども達の学校での様子を知ることができ,とても良いと思います。

※ 多くの温かいご意見をいただきました。貴重なご意見を励みに,今後も子どもたちのために教育活動に当たってまいります。

△ 学級閉鎖時や欠席時で生じた授業の遅れへの対応をしてほしい

- 学習プリントを補充したり,家庭での課題の内容をお知らせしたりして,できる範囲で取り組めるよう支援してきました。今後も授業の中でポイントを絞った指導を行ったり,休み時間等を活用した補充の時間を確保したりすることで,学習の遅れを少しでも補うことができるよう取り組んでまいります。

△ 日常の中で,児童への指導を厳しく行ってほしい

- 児童一人一人のよさを認めながらも,やってはならない行為をした時においては,その行為について真剣に考えさせ,今後どうしていけばよいかを振り返らせるなど,“優しさと厳しさ”の両面を大切にしていくことを教職員間で共通理解を図りながら指導を進めています。また,児童間でのトラブルにおいては,学年の発達段階を考慮しながら,ある場面では子どもたち同士での話し合いを,この場面では,必要に応じて教師が子どもたちの間に入り,子どもたちの話にしっかりと耳を傾けながら指導を進めていくようにします。子どもたちのよりよい心の成長につなげていけるよう今後も指導に取り組んでまいります。

△ タブレットの学習にさらに力を入れてほしい

→ 全学年を通して、算数科、道徳科等でのデジタル教科書の活用、ドリル型の学習、調べ学習でのまとめ活動、生活科や理科での観察活動等での有効活用をさらに進めていきます。また、低学年でも限られた時間の中で、タブレットの使い方の練習・指導を行ってきました。そのような機会を今後もできるだけ増やしていきます。また、今後もタブレットの授業への効果的な活用方法、タブレット利用によるいじめがないように情報モラル教育に関する校内研修を行っていきます。

△ 交通安全に関するマナー、自転車の利用についての指導を進めてほしい

→ 春に交通教室を実施し、自転車の安全点検や乗り方の指導、ヘルメットを着用するように指導しております。保護者の方にも点検の実施、学年ごとの自転車利用時の範囲の確認、ヘルメット着用を呼びかけております。地域の方からも自転車の乗り方についてはご指摘をいただくことがありますので、継続して指導にあたります。また、学校では降雪以降、次年度の交通教室まで自転車に乗らないよう指導しております。今後も引き続き交通安全に関する指導を繰り返し進めてまいります。

△ 連絡簿、学習カード、保護者用プリント、学年別のプリント、販売チラシ的なもの、献立表、下校時刻表、その他の適時のプリントについて簡素化の目的で集約などの方法はとれないか

→ 学校だより、学年通信、下校時刻表、献立表等は保護者の皆様に確実に連絡がいくようプリントで配付させていただいております。一部はホームページにもデジタル化したものを掲載しております。その他の県・市・教育機関など外部から依頼されたチラシなども必要に応じて精選しながら配付しております。保護者の皆様のお手間を取らせないためにも、また、SDG'sの視点からも紙の配付をできるだけ削減するようにしたいと考えます。

△ あいさつ運動に参加している児童がだまっている様子がある

→ あいさつ運動にご協力いただきありがとうございます。担当児童を含め、あいさつの意義や効果について再確認し取り組んでまいります。

△ 給食着の廃止はできないか。弁当の回数が多いのでは

→ 常日頃から保護者の皆様には給食着の使用後の洗濯やアイロン等にご協力いただいていることに心から感謝いたします。保護者の皆様にはご負担があるかと存じますが、できる範囲でのご協力をお願いいたします。

また、弁当については、年間の給食の食数が決まっております（全学年で揃えることが原則）。一部の学年で学校行事等（6年修学旅行・陸上大会、4・5年宿泊学習、5年農業科収穫祭、5・6年調理実習など）が入ると、弁当持参日にせざるを得ない状況がでてきます。できる限り保護者の皆様のご負担がないよう進めてまいります。ご協力をお願いいたします。

△ 「ほおのき発表会」での保護者の入れ替えは、学年ごとがよいのでは

→ 多くの保護者の皆様が、できるだけ前の席でお子様の様子を見ることができるよう、各学年の発表時間、全体のタイムスケジュールを考慮しながら、よりよい入れ替えの方法を検討してまいります。

○ 現在の農業授業は、私達の世代には無かった授業。とても興味があります。今後も、大変だと思いますがよろしくご指導ください

→ 今後も、喜多方市独自の農業科の取組を重視し、農業活動を通して、共生や思いやり、人と環境についての関わり、農作物が自分たちの命と関わっていること、農作物について世話をし続けることの意義・大切さについて考えることができるよう指導を進めてまいります。

※ 学校評価アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。保護者の皆様には、今後も引き続き学校の教育活動に対するご支援・ご協力をお願いいたします。



ほおの木教育 2023

喜多方市立第二小学校 学校経営・運営ビジョン

教育目標

知・徳・体の調和のとれた心豊かなたくましい人間性の育成を目指して、個性や創造力の伸長を図り、社会性を培い、主体的に実践する児童を育成する

【スローガン】 笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

【合い言葉】 チームほおの木

【基本方針】 児童一人一人が、それぞれの「夢」の実現に向け、「豊かな人間性・社会性」「確かな学力」「健康とたくましさ」をバランスよく身に付け、将来にわたって自己実現を図るための選択肢を多くもてるようにしていく。

目指す児童の姿

| | | | |
|-------------|-----------------|-----------------|------------|
| すすんで学習する子ども | 心やさしく思いやりのある子ども | きまりを守り責任を果たす子ども | 元気に運動する子ども |
|-------------|-----------------|-----------------|------------|



目指す資質・能力及びその手立て

| 知識・技能の確実な習得と 思考力・判断力・表現力の育成 | 自他の尊重と効力感の育成 | 基本的な生活習慣と社会性の育成 | 体力・健康増進と安全の徹底 |
|---|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 学力向上デザインの確実な実践による思考力・判断力・表現力の育成 (思考し続ける学びへ) <ul style="list-style-type: none"> ○ 問いを引き出す課題設定の工夫 ○ 思考し、深めさせる話し合い活動の工夫 ○ 「まとめ・振り返り」における学び合いの価値づけの工夫 ○ 「授業スタンダード」の活用 □ 自学・自習力を育成する家庭学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業と家庭学習の関連づけ ○ 「家庭学習スタンダード」の活用(こつこつがコツ) □ 読書活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 担任による読書推進活動 ○ 学校図書館司書との協働(一人月2冊以上100%) ■ 知識・技能の確実な習得・定着 <ul style="list-style-type: none"> ○ 個々の実態に応じた補充・発展的指導の充実：一人一人に必要な力を確実に育成(こつこつがコツ) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 学級力の向上(自己肯定感を育む) <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標をもった学級集団づくり(Q-Uテスト・学級カレンダーチャートの活用) ○ 「ほめ言葉のシャワー」の継続 ■ やさしく、思いやりのある人間関係の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「チームほおの木」として相手の心を考え行動 ■ 考え、議論し、自己の生き方についての考えを深める道徳授業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○ ＜学校重点指導項目＞ 節度節制/親切・思いやり/規則の尊重/生命の尊さ ○ 学校生活や体験活動と関連づけた道徳授業の実施 □ 体験活動・交流活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 異学年交流活動の充実 ○ 気づき・考え・実行するボランティア活動の推進(ミニボラ) □ 特別支援教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 個々の特性を理解し支援する。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ きまりの意義理解した自律的態度の育成(「していること・していること」の意識化) <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ほおの木っ子の一日」の全校統一した指導の継続 ○ ＜重点指導事項＞ <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・返事 ・後始末 ・廊下歩行 □ 対人関係スキルの向上 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年集会等を活用した構成的グループエンカウンター、SST、ストレスマネジメント等の実施 ○ Q-Uテストの分析結果を活用した指導 ■ いじめ・不登校の早期発見、即時対応、継続的な見守り <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ防止基本方針に沿った組織的・実効的対応 ○ 多様な方法による精度の高い情報収集及び共有(不登校0、いじめ見逃し0) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 日常的な体力づくりの推進(負荷をかけ、耐性を育む) <ul style="list-style-type: none"> ○ 体力向上推進計画に基づく計画的・継続的実践 ○ →上体起こし、50m走20mシャトルランの向上 ○ 運動身体づくりプログラムの確実な実施(こつこつがコツ)(体カテストD・Eが15%以内)(水泳6年で50M、4年で25M80%) □ 自律的な生活習慣の育成 <ul style="list-style-type: none"> ○ 規律ある生活リズムの保持 ○ 健康についての確かな知識と意識をもたせる指導 ○ 「オフスクリーン喜多方っ子運動」(むし歯予防、処置率80%以上)(肥満度20%以上を10%以下に) ■ 「自分手帳」の積極的活用 <ul style="list-style-type: none"> ○ 運動・食・生活に関する望ましい習慣の形成 □ 安全に行動できる力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ○ 危険予知及び回避能力の育成 ○ 家庭・地域・関係団体との連携 |
| ◆ 学校の勉強はわかりやすくて楽しい。(A+B 90%以上) | ◆ 友達の気持ちを考え、仲良く生活している。(A+B 90%以上) | ◆ 友達や地域の方に進んであいさつをしている。(A+B 90%以上) | ◆ 進んで運動に取り組み、体力をつけている。(A+B 90%以上) |

家庭・地域・関係団体と連携し、共に育てる指導・支援

- 心を通わすあいさつ運動 → PTA補導委員会、民生児童委員、青少年育成会議
- メディア利用5つの約束+家庭での読書 → PTA教養委員会、喜多方第一中学校区連絡協議会
- 喜多方一中学区4校共通7つの実践(重点/「夢や目標」「家庭学習」) → 喜多方第一中学校区連絡協議会
- 地域人材の活用 → 学校運営協議会 ■ 早寝・早起き・朝ごはん → 保護者、学校保健委員会、保健委員会
- 漢字検定・放課後学習会 → PTA教養部、退職校長会との連携 ■ こども園・学区内商店等との交流活動

学校像

- ◆ 活気と活力に満ちた学校
- ◆ 安全・安心に過ごせる学校
- ◆ 子どもの確かな学びと育ちを保障する学校
- ◆ 保護者・地域が一体となって子どもを育てる学校

教師像

- ◆ 児童とともに笑う教師
- ◆ 具体的な児童の姿で説明できる教師
- ◆ 自己目標をもち、常に研修に励む教師
- ◆ 児童・保護者・地域から信頼される教師

【会津教育事務所 推進プラン】

人間力に満ちた人材の育成 ～学びをつなぐ・育ちをつなぐ会津の教育～
※人間力に満ちた人材：学習や経験から学んだ様々な力を生かして、自らの道を切り開き、社会に貢献することのできる人材

【喜多方市教育委員会(3つの共通実践)】

- **学力向上(重点共通実践事項)**
- 自己肯定感を育む活動の充実
- 地域とともに歩む学校づくりの推進

教育課程編成届

4喜二小発第 号
令和5年 3月 17日

喜多方市教育委員会教育長 様

喜多方市立第二小学校長 田中 純

令和5年度の教育課程を下記のとおり編成したのでお届けします。

記

◎ 学校の教育目標

< 教育目標 >

知・徳・体の調和のとれた心豊かなたくましい人間性の育成を目指して、個性や創造力の伸長を図り、社会性を培い、主体的に実践する児童を育成する

[目指す児童の姿]

- すすんで学習する子ども
- 心やさしく思いやりのある子ども
- きまりを守り責任を果たす子ども
- 元気に運動する子ども

[スローガン]

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

[合い言葉]

チームはおの木

[重 点]

- 知識・技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成
- 自他の尊重と効力感の育成
- 基本的生活習慣と社会性の育成
- 体力・健康増進と安全の徹底

1 教育課程編成の方針

(1) 教育課程編成の基本方針

- 関係法令及び学習指導要領、県・市教育委員会の重点施策、児童・学校・地域の実態をもとに学校の教育的課題を明確にし、その解決が図られる教育課程を編成する。
- 学習指導要領の趣旨に沿った学習指導の改善と展開を図り、個性豊かで主体的・意欲的に実践する児童が育成される教育課程を編成する。
- 学習指導要領の基本方針を十分に踏まえる。
- 本校の教育課題に向けた特色ある教育活動の実践を通して、実践事項の重点化を図り、全ての児童の「生きる力」を育むために、コンピテンシー（資質・能力）教育を目指す教育課程を編成する。
- 地域に開かれた信頼される学校をめざし、地域の教育力を活用するなど地域との連携を積極的に図り、情操豊かで郷土愛に満ちた児童が育成される教育課程を編成する。

(2) 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の取扱い

- 各教科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、生徒指導との関連及び家庭や地域との連携を図りながら道徳性を高め、常に心の教育「思いやりの心」を意識し、意欲や自己効力感に視点を当てて、指導に努める。また、子どものよさや小さな頑張りを認め、進んで取り組む意欲や態度を育てる。

- 好ましい人間関係の中で、道徳的諸価値について多面的・多角的にとらえ課題解決していく道徳科の指導を、考え議論する視点から充実させ、道徳性の育成に努める。
- (3) 学校の教育活動全体を通じて行う体育・健康の取扱い
- 体育科の指導の充実とともに、特別活動との関連を図り、楽しさの中で運動能力や体力の一層の向上に努める。
 - 地域の自然条件を効果的に生かし、季節に応じた体育的な活動を計画的により運動能力の向上に努め、体育の日常化につなげる。
 - 日常の健康管理や食生活、安全な生活についての具体的な指導を通して、健康で安全な行動ができるようにするとともに病気や事故の未然防止に努める態度を育てる。
 - 放射線や放射性物質についての具体的な指導を通して、放射線から身を守る健康で安全な行動ができる態度を育てる。
- (4) 総合的な学習の時間の取扱い
- 横断的・総合的な学習や探究的な学習を進め、教科等で身に付けた知識や技能を生かした課題解決的な活動により、思考力・判断力・表現力などを育成する。
 - 日常生活や地域社会に目を向け、自ら課題を見つけ、情報を収集し、整理・分析して結果をまとめて、それらを進んで発表する態度を育成する。
 - 友だちと協力して課題解決に取り組むとともに地域の人や専門家から話を聞く活動を進めることで他者のよさを発見するとともに、自己の生き方を考える機会になるようにする。
 - 第3学年、第4学年、第5学年、第6学年において「農業科」を設定し、農作物の栽培活動を通して、「命」の尊さ、自然とのかかわり、環境の大切さを理解させるとともに生産の喜びを体験させる。
- (5) 特に必要があって加える指導内容の取扱い
- 全学年の学級活動の時間において放射線についての学習の時間を2時間位置づけた。
- (6) 計画の大部分にわたって改正し、当該年度から実施しようとする事項
- 特になし
- (7) 創意を生かした教育活動
- 特になし
- (8) その他必要な事項
- ① 合科的な指導の取扱い
- ア 実施学年 第1学年、第2学年
- イ 実施教科 国語科、生活科
- ウ 留意事項
- (ア) 各学年教科の目標が、より効果的に達成されるよう内容の取扱いに留意するとともに見学、観察、集会活動、発表活動等において、「話すこと」や「書くこと」の力の育成を図る。
- (イ) 第3学年以上についても、必要に応じて合科的な指導を進めていく。

② その他（１）～（７）で表現できなかった事項

ア 授業を行わない日

特になし

イ 繰替休業日

- 4月15日（土）が授業参観のため、4月17日（月）を繰替休業日とする。
- 5月20日（土）が運動会のため、5月22日（月）を繰替休業日とする。
- 10月7日（土）が授業参観・交通安全鼓笛パレードのため、10月10日（火）を繰替休業日とする。
- 11月11日（土）がほおの木発表会のため、11月13日（月）を繰替休業日とする。

2 授業日数及び時数の運用

(1) 年間授業日数

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 | 第4学年 | 第5学年 | 第6学年 |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 第1学期 | 72 | 72 | 72 | 72 | 72 | 72 |
| 第2学期 | 82 | 82 | 82 | 82 | 82 | 82 |
| 第3学期 | 51 | 51 | 51 | 51 | 51 | 51 |
| 計 | 205 | 205 | 205 | 205 | 205 | 205 |

(2) 年間授業時数

①各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間（農業科含む）の時数及び週数

| 区分 | 各教科 | | | | | | | | | | 特別の教科「道徳」 | 外国語活動 | 総合的な学習の時間 | 合計(週数) |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|----|------|----|-----|-----|-----------|-------|-----------|----------|
| | 国語 | 社会 | 算数 | 理科 | 生活 | 音楽 | 図画工作 | 家庭 | 体育 | 外国語 | | | | |
| 第1学年 | 306 | | 136 | | 102 | 68 | 68 | | 102 | | 34 | | | 816 (34) |
| 第2学年 | 315 | | 175 | | 105 | 70 | 70 | | 105 | | 35 | | | 875 (35) |
| 第3学年 | 245 | 70 | 175 | 90 | | 60 | 60 | | 105 | | 35 | 35 | 70 | 945 (35) |
| 第4学年 | 245 | 90 | 175 | 105 | | 60 | 60 | | 105 | | 35 | 35 | 70 | 980 (35) |
| 第5学年 | 175 | 100 | 175 | 105 | | 50 | 50 | 60 | 90 | 70 | 35 | | 70 | 980 (35) |
| 第6学年 | 175 | 105 | 175 | 105 | | 50 | 50 | 55 | 90 | 70 | 35 | | 70 | 980 (35) |

②特別活動の内容別時数

| | A 学級活動 | B 児童会活動 | C クラブ活動 | D 学校行事 | |
|------|--------|---------|---------|--------|------|
| 第1学年 | 36時間 | 4時間 | | 4日 | 23時間 |
| 第2学年 | 37時間 | 4時間 | | 4日 | 23時間 |
| 第3学年 | 37時間 | 5時間 | | 4日 | 23時間 |
| 第4学年 | 37時間 | 19時間 | 15時間 | 5日 | 27時間 |
| 第5学年 | 37時間 | 19時間 | 15時間 | 5日 | 32時間 |
| 第6学年 | 37時間 | 18時間 | 15時間 | 7日 | 25時間 |

(3) 1単位時間の計画

4 5

 分

3 指導計画

- (1) 各教科の指導計画 別紙のとおり
- (2) 特別の教科「道徳」の指導計画 別紙のとおり
- (3) 外国語活動の指導計画 別紙のとおり
- (4) 総合的な学習の時間の指導計画（農業科の指導計画を含む） 別紙のとおり
- (5) 特別活動の指導計画 別紙のとおり
- (6) その他
 - 教育課程編成の特例に該当する事項の指導計画 別紙のとおり
（低学年における合科的な指導計画）

4 日課表 次頁のとおり

教 育 課 程 編 成 届

4 喜二小発第 号

令和5年 3月 17日

喜多方市教育委員会教育長 様

喜多方市立第二小学校長 田中 純

令和5年度の教育課程（情緒障がい特別支援学級）を下記のとおり編成したのでお届けします。

記

◎ 学校の教育目標

< 教育目標 >

知・徳・体の調和のとれた心豊かなたくましい人間性の育成を目指して、個性や創造力の伸長を図り、社会性を培い、主体的に実践する児童を育成する

[目指す児童の姿]

- すすんで学習する子ども
- 心やさしく思いやりのある子ども
- きまりを守り責任を果たす子ども
- 元気に運動する子ども

[スローガン]

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

[合い言葉]

チームほおの木

[重 点]

- 知識・技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成
- 自他の尊重と効力感の育成
- 基本的生活習慣と社会性の育成
- 体力・健康増進と安全の徹底

1 教育課程編成の方針

(1) 教育課程編成の基本方針

- 本校特別支援学級児童の望ましい人間形成をめざし、特別支援学校学習指導要領及び小学校学習指導要領により、個々の実態に即して編成する。
- 児童と教師、児童相互のふれあいを基盤とし、日常生活の中で情緒の安定を図る指導を重視して教育課程を編成する。
- 日常生活を主とした活動の中で各教科、特別の教科道徳、特別活動に関連した指導を計画的にできるよう編成する。
- 児童の実態に即して衣食住等に関する身辺処理の能力を育て、日常生活、社会生活への適応を図る指導を弾力的に行うことができるよう編成する。
- 個の障がいの程度に応じたきめ細かな教育課程を編成するとともに、情緒障がい学級や通常学級との交流及び共同学習に配慮し、楽しさの中で学習の効果や社会性の育成が図れるよう編成する。
- 個別の指導計画を作成し、保護者や関係機関等との連携協力関係を深め、児童の個々の障がいの実態に即した適切な教育ができるようにする。

(2) 学校教育活動全体を通じて行う道徳教育の取扱い

- 周囲に対する親愛感を深め、児童一人一人の実態に応じ、望ましい接し方ができるよう、学校生活及び教育活動の全領域で指導する。
- 日常生活において、善悪を判断する能力を育てるとともに、場に応じた自己抑制力が身につくよう指導する。

(3) 学校教育活動全体を通じて行う体育・健康の取扱い

- 体育科の指導の充実に努めるとともに、特別活動との関連を図り、楽しさの中で運動能力や体力の一層の向上に努める。
- 地域の自然条件を効果的に生かし、季節に応じた体育的な活動を計画的に実施し、運動

能力の向上に努め、体育の日常化につなげる。

- 日常の健康管理や食生活、安全な生活についての具体的な指導を通して、健康で安全な行動様式への自覚を高め、病気や事故の未然防止に努める態度を養う。
 - 放射線や放射性物質についての具体的な指導を通して、放射線について正しく理解し、放射線から身を守る健康で安全な生活ができる態度を養う。
- (4) 総合的な学習の時間の取扱い
- 横断的・総合的な学習や探究的な学習を進め、教科等で身に付けた知識や技能を生かした課題解決的な活動により、思考力・判断力や表現力などを育成する。
 - 日常生活や地域社会に目を向け、自ら課題を見つけ、情報を収集し、整理・分析を通しまとめ、表現し、それらを進んで発表する態度を育成する。
 - 児童の特性・実態に応じて、身近な生活の場を見つめ直し、自ら学び、自ら考えるなど「生きる力」の育成に努める。また、個の状況等によっては通常学級の総合学習に参加できるようにする。
 - 農業科を設定し、農作物の栽培を通して「命」の尊さ、自然とのかかわり、環境の大切さと理解させるとともに、生産の喜びを体験させる。
- (5) 特に必要があって加える指導内容の取扱い
- 学級活動の時間に放射線についての時間を2時間設定する。
 - 教科、特別活動、遊びの面で自閉症・障がい学級や通常学級児童との交流及び共同学習を積極的に行い、望ましい人間関係の育成を図っていく。
 - 日常生活におけるあいさつや応答の仕方など言語活動を盛んにする。
 - 自立活動については、児童の一人一人の教育的ニーズに応じ、個別の指導計画を作成して、自立活動の時間を中心として、学校教育活動全体を通して指導と支援を行う。
個別の指導計画の作成に当たっては、校内支援委員会等を活用して、多くの意見を生かして作成する。
- (6) 計画の大部分にわたって改正し、当該年度から実施しようとする事項
特にない
- (7) 創意を生かした教育活動
特にない
- (8) その他必要な事項
- ① 教育課程編成の特例に該当する事項
 - ア 通常学級児童との交流の機会を適宜計画し、相互親睦・社会性・適応性の伸長を図るようにする。
 - イ 情緒障がい学級における指導形態
 - (ア) 教科別の指導
 - 国語、社会、算数、生活、理科、音楽、図画工作、体育、道徳、外国語、外国語活動、総合的な学習の時間とし、通常学級に準ずる。
 - (イ) 自立活動
 - 障がいに基づく種々の困難を改善・克服するために必要な知識・技能・態度及び習慣を養う。児童の負担が過重にならないようにするため、2年、3年、5年共に、国語30時間、学級活動10時間削除する。
 - (ウ) 交流及び共同学習
 - 第2学年 生活105時間 音楽70時間 図工70時間 体育105時間
 - 第3学年 外国語活動35時間 音楽60時間 図工60時間 体育105時間 総合70時間
 - 第5学年 外国語70時間 音楽50時間 図工50時間 体育90時間 総合70時間
 - ② 上記①のうち、合科的な指導の取扱い
特にない

③ その他（１）～（７）で表現できなかった事項

ア 繰替休業日

- 4月15日（土）が授業参観のため、4月17日（月）を繰替休業日とする。
- 5月20日（土）が運動会のため、5月22日（月）を繰替休業日とする。
- 10月7日（土）が授業参観・交通安全鼓笛パレードのため、10月10日（火）を繰替休業日とする。
- 11月11日（土）がほおの木発表会のため、11月13日（月）を繰替休業日とする。

2 授業日数及び時数の運用

(1) 年間授業日数

| | 第2学年 | 第3学年 | 第5学年 |
|------|------|------|------|
| 第1学期 | 72 | 72 | 72 |
| 第2学期 | 82 | 82 | 82 |
| 第3学期 | 51 | 51 | 51 |
| 計 | 205 | 205 | 205 |

(2) 年間授業時数

教科別指導、道徳、自立活動、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

【編制の基準】第2・3・5学年 A 学年相応の教科等＋自立活動

| 教 科 等 | 第2学年 | 第3学年 | 第5学年 | |
|-----------|-----------|---------|---------|------|
| 教科別指導 | 国 語 | 285 | 215 | 145 |
| | 社 会 | | 70 | 100 |
| | 算 数 | 175 | 175 | 175 |
| | 生 活 | 105 | | |
| | 理 科 | | 90 | 105 |
| | 音 楽 | 70 | 60 | 50 |
| | 図 画 工 作 | 70 | 60 | 50 |
| | 家 庭 体 育 | 105 | 105 | 90 |
| | 外 国 語 | | | 70 |
| 特別の教科「道徳」 | 35 | 35 | 35 | |
| 自立活動 | 40 | 40 | 40 | |
| 外国語活動 | | 35 | | |
| 総合的な学習の時間 | | 70 | 70 | |
| 合計（週数） | 885(35) | 955(35) | 990(35) | |
| 特別活動 | 学 級 活 動 | 27 | 27 | 27 |
| | 児 童 会 活 動 | 4 | 5 | 19 |
| | ク ラ ブ 活 動 | | | 15 |
| | 学 校 行 事 | 4日23 | 4日23 | 5日32 |

○自立活動の時数は、各学年とも国語科から30時間、学級活動から10時間の合計40時間を充てた。

(3) 1単位時間の計画

4 5

 分

3 指導計画

- (1) 教科別の指導計画 別紙のとおり
- ※ 通常学級指導計画に準ずる。
- (2) 特別の教科「道徳」の指導計画 別紙のとおり
- (3) 外国語活動の指導計画 別紙のとおり
- (4) 総合的な学習の時間の指導計画（農業科の指導計画も含む） 別紙のとおり
- (5) 特別活動の指導計画 別紙のとおり
- (6) その他
 - 教育課程編成の特例に該当する事項の指導計画 別紙のとおり
（低学年における合科的な指導計画）

4 日課表 次頁のとおり

教 育 課 程 編 成 届

4 喜二小発第 号
令和 5 年 3 月 1 7 日

喜多方市教育委員会教育長 様

喜多方市立第二小学校長 田中 純

令和 5 年度の教育課程（知的障がい特別支援学級）を下記のとおり編成したのでお届けします。

記

◎ 学校の教育目標

< 教育目標 >

知・徳・体の調和のとれた心豊かなたくましい人間性の育成を目指して、個性や創造力の伸長を図り、社会性を培い、主体的に実践する児童を育成する

[目指す児童の姿]

- すすんで学習する子ども
- 心やさしく思いやりのある子ども
- きまりを守り責任を果たす子ども
- 元気に運動する子ども

[スローガン]

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

[合い言葉]

チームほおの木

[重 点]

- 知識・技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成
- 自他の尊重と効力感の育成
- 基本的生活習慣と社会性の育成
- 体力・健康増進と安全の徹底

1 教育課程編成の方針

(1) 教育課程編成の基本方針

- 本校特別支援学級児童の望ましい人間形成をめざし、特別支援学校学習指導要領及び小学校学習指導要領により、個々の実態に即して編成する。
- 児童と教師、児童相互のふれあいを基盤とし、日常生活の中で情緒の安定を図る指導を重視して教育課程を編成する。
- 日常生活を主とした活動の中で各教科、特別の教科道徳、特別活動に関連した指導を計画的にできるよう編成する。
- 児童の実態に即して衣食住等に関する身辺処理の能力を育て、日常生活、社会生活への適応を図る指導を弾力的に行うことができるよう編成する。
- 個の障がいの程度に応じたきめ細かな教育課程を編成するとともに、情緒障がい学級や通常学級との交流及び共同学習に配慮し、楽しさの中で学習の効果や社会性の育成を図れるよう編成する。
- 個別の指導計画を作成し、保護者や関係機関等との連携協力関係を深め、児童の個々の障がいの実態に即した適切な教育ができるようにする。

(2) 学校教育活動全体を通じて行う道徳教育の取扱い

- 周囲に対する親愛感を深め、児童一人一人の実態に応じ、望ましい接し方ができるよう、学校生活及び教育活動の全領域で指導する。
- 日常生活において、善悪を判断する能力を育てるとともに、場に応じた自己抑制力が身につくよう指導する。

(3) 学校教育活動全体を通じて行う体育・健康の取扱い

- 体育科の指導の充実にも努めるとともに、特別活動との関連を図り、楽しさの中で運動能力や体力の一層の向上に努める。

- 地域の自然条件を効果的に生かし、季節に応じた体育的な活動を計画的に実施し、運動能力の向上に努め、体育の日常化につなげる。
 - 日常の健康管理や食生活、安全な生活についての具体的な指導を通して、健康で安全な行動様式への自覚を高め、病気や事故の未然防止に努める態度を養う。
 - 放射線や放射性物質についての具体的な指導を通して、放射線について正しく理解し、放射線から身を守る健康で安全な生活ができる態度を養う。
 - (4) 総合的な学習の時間の取扱い
 - 横断的・総合的な学習や探究的な学習を進め、教科等で身に付けた知識や技能を生かした課題解決的な活動により、思考力・判断力や表現力などを育成する。
 - 日常生活や地域社会に目を向け、自ら課題を見つけ、情報を収集し、整理・分析を通しまとめ、表現し、それらを進んで発表する態度を育成する。
 - 児童の特性・実態に応じて、身近な生活の場を見つめ直し、自ら学び、自ら考えるなど「生きる力」の育成に努める。また、個の状況等によっては通常学級の総合学習に参加できるようにする。
 - 農業科を設定し、農作物の栽培を通して「命」の尊さ、自然とのかかわり、環境の大切さと理解させるとともに、生産の喜びを体験させる。
 - (5) 特に必要があって加える指導内容の取扱い
 - 学級活動の時間に放射線についての時間を2時間設定する。
 - 教科、特別活動、遊びの面で自閉症・障がい学級や通常学級児童との交流及び共同学習を積極的に行い、望ましい人間関係の育成を図っていく。
 - 日常生活におけるあいさつや応答の仕方など言語活動を盛んにする。
 - (6) 計画の大部分にわたって改正し、当該年度から実施しようとする事項
特になし
 - (7) 創意を生かした教育活動
特になし
 - (8) その他必要な事項
 - ① 教育課程編成の特例に該当する事項
 - ア 通常学級児童との交流の機会を適宜計画し、相互親睦・社会性・適応性の伸長を図るようにする。
 - 交流及び共同学習
 - 第2学年 音楽(70) 図画工作(70) 体育(105) 生活(105)
 - 第3学年 書写(30) 社会(70) 理科(90) 音楽(60) 図画工作(60) 体育(105) 道徳(35) 外国語活動(35)
 - 第4学年 書写(30) 社会(90) 理科(105) 音楽(60) 図画工作(60) 体育(105) 道徳(35) 外国語活動(35)
 - 第5学年 書写(30) 社会(100) 理科(105) 音楽(50) 図画工作(50) 家庭(60) 体育(90) 道徳(35) 外国語(70)
 - 第6学年 書写(30) 社会(105) 理科(105) 音楽(50) 図画工作(50) 家庭(55) 体育(90) 道徳(35) 外国語(70)
 - イ 児童の実態に応じて、教科・生活を中核とした「領域・教科を合わせた指導」や「教科別・領域別の指導」形態を取り入れる。
 - (ア) 領域・教科を合わせた指導
 - 生活単元学習
 - (イ) 自立活動
 - 個々の児童の障がいに基づく様々な困難を主体的に改善克服するために必要な技術・態度及び習慣を養い、心身の調和的な発達の基礎を養うようにする。
児童の負担が過重にならないようにするため、各学年で以下のように配当する。
- ② 上記①のうち、合科的な指導の取扱い
特になし
- ③ その他(1)～(7)で表現できなかった事項

ア 授業を行わない日

特になし

イ 繰替休業日

○ 4月15日（土）が授業参観のため、4月17日（月）を繰替休業日とする。

○ 5月20日（土）が運動会のため、5月22日（月）を繰替休業日とする。

○ 10月7日（土）が授業参観・交通安全鼓笛パレードのため、10月10日（火）を繰替休業日とする。

○ 11月11日（土）がほおの木発表会のため、11月13日（月）を繰替休業日とする。

2 授業日数及び時数の運用

(1) 年間授業時数

| | 第2学年 | 第3学年 | 第4学年 | 第5学年 | 第6学年 |
|------|------|------|------|------|------|
| 第1学期 | 72 | 72 | 72 | 72 | 72 |
| 第2学期 | 82 | 82 | 82 | 82 | 82 |
| 第3学期 | 51 | 51 | 51 | 51 | 51 |
| 計 | 205 | 205 | 205 | 205 | 205 |

(2) 年間授業時数

領域・教科を合わせた指導，教科別指導，道徳，自立活動，特別活動，外国語活動，総合的な学習の時間の時数及び週数

【編制の基準】 第2～6学年 B 学年相応の教科等＋下学年の教科等＋自立活動

| 教 科 等 | | 第2学年 | 第3学年 | 第4学年 | 第5学年 | 第6学年 |
|--------------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 領域・教科を合わせた指導 | 生活単元学習 | | | | | |
| | 国 語 | 291 | 221 | 221 | 151 | 151 |
| 教科別指導 | 社 会 | | 70 | 90 | 100 | 105 |
| | 算 数 | 164 | 164 | 164 | 164 | 164 |
| | 生 活 | 105 | | | | |
| | 理 科 | | 90 | 105 | 105 | 105 |
| | 音 楽 | 70 | 60 | 60 | 50 | 50 |
| | 図 画 工 作 | 70 | 60 | 60 | 50 | 50 |
| | 家 庭 | | | | 60 | 55 |
| | 体 育 | 105 | 105 | 105 | 90 | 90 |
| | 外 国 語 | | | | 70 | 70 |
| 特別の教科「道徳」 | | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 |
| 自立活動 | | 45 | 45 | 45 | 45 | 45 |
| 外国語活動 | | | 35 | 35 | | |
| 総合的な学習の時間 | | | 70 | 70 | 70 | 70 |
| 合計（週数） | | 885 (35) | 955 (35) | 990 (35) | 990 (35) | 990 (35) |
| 特別活動 | 学級活動 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 |
| | 児童会活動 | 4 | 5 | 18 | 18 | 17 |
| | クラブ活動 | | | 15 | 15 | 15 |
| | 学校行事 | 4日23 | 4日23 | 5日27 | 5日32 | 7日25 |

○自立活動の時数は、各学年とも国語科から24時間、算数科から11時間、学級活動から10時間の合計45時間を充てた。

(3) 1単位時間の計画

4 5 分

3 指導計画

- (1) 領域・教科を合わせた指導計画 別紙のとおり
- (2) 教科別の指導計画 別紙のとおり
- (3) 自立活動の指導計画 別紙のとおり
- (4) 特別活動の指導計画 別紙のとおり
- (5) その他
 - 教育課程編成の特例に該当する事項の指導計画 別紙のとおり
(低学年における合科的な指導計画)

4 日課表 次頁のとおり